

第 90 回 北海道・美幌研修会

北海道 美幌でバラエティーに富んだ体験をしよう!



開催日：2015 年 8 月 19 日(水)～8 月 24 日(月)

開催地：北海道 美幌町

参加者：留学生 14 名



参加者

	氏 名	フリガナ	性別	国籍	所 属 学 校
1	頼 文婧	ライ ブンセイ	女	中国	武蔵野大学大学院
2	岳 玥	ユエ ユエ	女	中国	新宿日本語学校
3	施 博仁	セ ハクジン	男	台湾	JET 日本語学校
4	余 錦澤	ユ ジンジェ	男	中国	東京大学
5	TRAN THI KHUYEN	チャン ティ クエン	女	ベトナム	中央工学校
6	KIM TITNITA	キム テットニター	女	カンボジア	共立財団日語学院
7	THONG CHAN RATANA	トン ジャン ラタナ	男	カンボジア	共立財団日語学院
8	楊 振星	ヤン ジェンシン	男	中国	共立財団日語学院
9	PHAN KHAC TUNG	フアン カック トウン	男	ベトナム	共立財団日語学院
10	PHI THI THUY NGUYEN	フィー ティ トウイ グェン	女	ベトナム	共立財団日語学院
11	MIN THANT HEIN	ミン タン ヘイン	男	ミャンマー	共立財団日語学院
12	林 楸賀	リン マオハ	男	台湾	東京国際大学付属日本語学校
13	夏 芸純	カ ケイジュン	女	中国	駒沢女子大学
14	夏 芸真	カ ケイシン	女	中国	駒沢女子大学

日程

8月19日

11:00 集合
 12:55 羽田出発
 14:40 女満別空港着
 15:00 グリーンビレッジ着
 15:30 緑の村 見学
 16:00 美幌町緑の村エコハウス



8月20日

10:20 小学校訪問
 (美幌・東陽・旭小学校)
 12:00 学校給食
 13:00 パークゴルフ体験
 15:30 ホストファミリー対面式
 16:00 美幌町長表敬訪問
 各ホストファミリーと帰宅



8月21日

10:30 美幌高校訪問 高校生と交流
 調理実習 (巻き寿司)
 13:15 華道体験
 18:00 第13回国際交流ビールパーティ
 20:30 若人との交流会



8月22日

10:30 ジャがいも収穫体験
12:00 ジャがいもを食べる
13:30 美幌消防署 レスキュー体験
16:00 ソバ打ち体験



8月23日

ホストファミリーと自由時間
18:00 おわかれパーティー
グリーンビレッジ（焼肉）

8月24日

11:00 美幌町観光
（網走・流水館、網走観獄）
15:20 女満別空港発
17:10 羽田空港着 解散



参加者からのメッセージ

8月23日

ホストファミリーと自由行動

石川 茂雄さんホームステイグループ

北海道であの夏の思い出よ。



余 錦澤さん（中国） 東京大学

西谷内 誠さんホームステイグループ

8月23日

ホストファミリーと自由行動

美幌峠ホストファミリーの子供達と遊ぶことは楽しかった。景色も超きれいでした。



PHI THI THUY NGUYEN さん(ベトナム) 共立財団日本語学院

8月24日

女満別空港

皆さん、家族の一人のように過ごさせていただき、本当にありがとうございます。最高です。



TRAN THI KHUYEN さん(ベトナム) 中央工学校

参加学生の感想作文は、2015年10月発行予定の当財団出版物「アジア文流Vol.38」に掲載致します。」

第2回「日本語体験コンテスト in ジャカルタ」 の様子が新聞に掲載されました！

2015年10月5日(月) じゃかるた新聞

The Daily Jakarta Shimbun

2015年(平成27年)10月5日(月曜日)

即興スピーチで日本へ

日本語体験コンテスト

第2回日本語体験コンテスト in ジャカルタ(共立国際交流奨学財団主催)が3日、中央ジャカルタのサリパンパシフィック・ホテルで開催され、34人が参加した。予選を通過した12人が思い思いの「日本」を語り、入賞した5人に日本の大学やスカイツリー、浅草などを巡る7泊8日の

「夢・日本体験賞」が贈られた。

コンテストは日本語を学ぶアジアの人たちの支援を目的に韓国で18回開いてい

るほか、中国、ベトナム、ミャンマー、タイ、カンボジア、マレーシアで実施、インドネシアでは昨年に続き2回目の開催。

その場で与えられた三つのテーマから一つを選び、即興で3分間のスピーチをする。真っ先に手を挙げたのはレンタカー会社員

のシティ・ローマーさん(23)。「日本人の考え方」をテーマに日本人相手に車を手配する体験談を発表し、入賞した。

プカシ県の日本語学校に勤めるアユ・アスマラ・デウィさん(21)は、「ロボット」のテーマで入賞。「ごみを取るロボットを作

りたい」と熱弁した。「『住めば都』というところを知っていますか」で始まるスピーチで観客を引きつけたのは、ピヌス大学日本語学科のランダ・アルキ・プリマワンさん(23)。このほか、ボゴールの大学生アイシャ・マウリナ・ザハラさん(22)、

会社員ナディア・フィトリさん(25)が入賞した。実行委員長の菊川長徳・共立国際交流奨学財団理事長は「日本を見て来て、日本を好きになって、留学のきっかけになれば」と話し、来年以降もコンテストを開催していく方針だ。(木村綾、写真も)



ランダさん



アイシャさん



ナディアさん



シティさん



アユさん